

今日は「110番の日」。ペットに110番はありませんが、緊急時の備えは飼い主が日頃から心掛けておくことが重要です。

いざというときにすぐに相談できるよう、かかりつけの動物病院の連絡先と診療時間を家族全員が分かる場所に書いておきましょう。夜間や昼休みなど診療時間外に連絡できる救急病院を知っておくのもお勧めです。最近は24時間の電話相談サービスなどもあるので利用するのもいいでしょう。

緊急対応で多いのは事故やけがです。誤飲事故では、飲み込んだ直後に症状がなくて



ペットの110番

も、薬物や食べ物を体内に吸収し中毒を起こすと取り返しのつかない状態になることもあります。すぐに動物病院に相談しましょう。

また、交通事故や外出先での事故では、近くの動物病院を探すため、携帯電話などに動物病院の検索サイトを登録しておくのもお勧めです。

散歩中の切り傷などのけがは流水でよく洗い、人間用の消毒剤などは使用せず、早めに動物病院に連れて行きましょう。

冬には泌尿器系の病気が多

くなります。毎日の排尿の状態も観察し、異常があれば獣医師に相談しましょう。

迷子対策として犬には鑑札を、猫は迷子札をそれぞれ付けましょう。首輪などに連絡先を記載しておくのもいいでしょう。マイクロチップを入れておくことも大切です。

大事なペットを守ってあげられるのは飼い主だけ。日頃から十分知識を持ち、いざというときに冷静に対処できるようにしましょう。

(アニコム損保

獣医師 井上舞)